

デジタル変革時代のICTグローバル戦略懇親会；国際戦略WG
第一回会合

2019年1月29日

デジタル変革への対応： OECDでの議論とG20への貢献

川口尚子

OECD事務総長官房
G20シェルパ室 東京代表



概要

- G20におけるOECDの役割
- G20の役割の変化
 - 金融危機への対応
 - 構造改革による経済成長
 - グローバル・メガトレンドへの対応
- G20の枠組みでデジタルを議論する重要性
- 2017年G20Roadmap for Digitalisation からの流れ
 - アルゼンチンG20（2018）：OECDの貢献
 - 例：デジタル男女格差
- OECDにおけるAIの議論：Going Digitalプロジェクト



OECD : G20のパートナー

OECDは**G20**プロセスの全てのレベルに参加・貢献しています

- ワーキングレベル：それぞれのテーマ別の作業部会に参加（エビデンスベースのバックグラウンド・ペーパーの準備やプレゼンでの貢献）
- **G20**シェルパ会合（**OECD**シェルパ）及び財務大臣・中央銀行総裁代理会議（**OECD**チーフエコノミスト）への参加。
- よりハイレベルの大臣会合や首脳会合に参加。





G20: 金融危機への対応から新たなグローバル・ガバナンスの枠組みへ

2008:
金融危機への対応

引き続き各国の危機からの回復を支持しつつも、より広範で、根本的で、構造的な問題の対応へと焦点を移す

首脳会合では：

- 長期的なイシューに対応する政策協調を進める
- 新たなグローバル課題への対応



デジタル変革をグローバルの場で議論

KEY ISSUES FOR DIGITAL TRANSFORMATION IN THE G20

Report prepared for a joint
G20 German Presidency/
OECD conference

BERLIN, GERMANY
12 JANUARY 2017



Federal Ministry
for Economic Affairs
and Energy

G20 GERMANY 2017

G20 Digital Economy Ministerial Conference

Dusseldorf 6 - 7 April 2017

**G20デジタル経済大臣会合
(2017年4月、デュッセルドルフ)**

Dusseldorf, 7 April 2017.

A ROADMAP for Digitalisation: Policies for a Digital Future

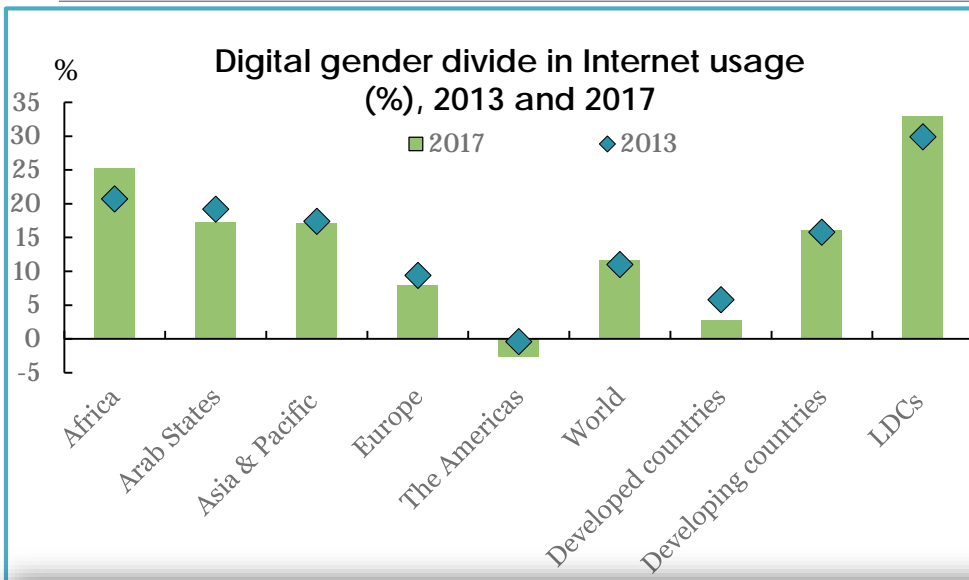
Annex paper 1 to the Declaration of the Ministers responsible for the
Digital Economy

Two years ago, in Antalya, G20 Leaders took note that we are living in a digital age and the effective use of digital technologies is an important driver for efficiency-enhancing and economic structural optimisation. In 2016, in Hangzhou, G20 countries agreed to the G20 Digital Economy Development and Cooperation Initiative which proposed some common understanding, principles and key areas of development and cooperation for the digital economy. In Dusseldorf, the G20 Task Force on the digital Economy has furthered the G20 Blueprint on Innovative Growth, Ministers responsible for the digital economy welcome and discussed this work plan for the G20 on digitalisation. A ROADMAP for Digitalisation: Policies for a Digital Future will build on the great work already done and deliver on areas G20 countries have identified as key areas. A study of the OECD "Key Issues for Digital Transformation in the G20" has been presented in the Ministerial Meeting.

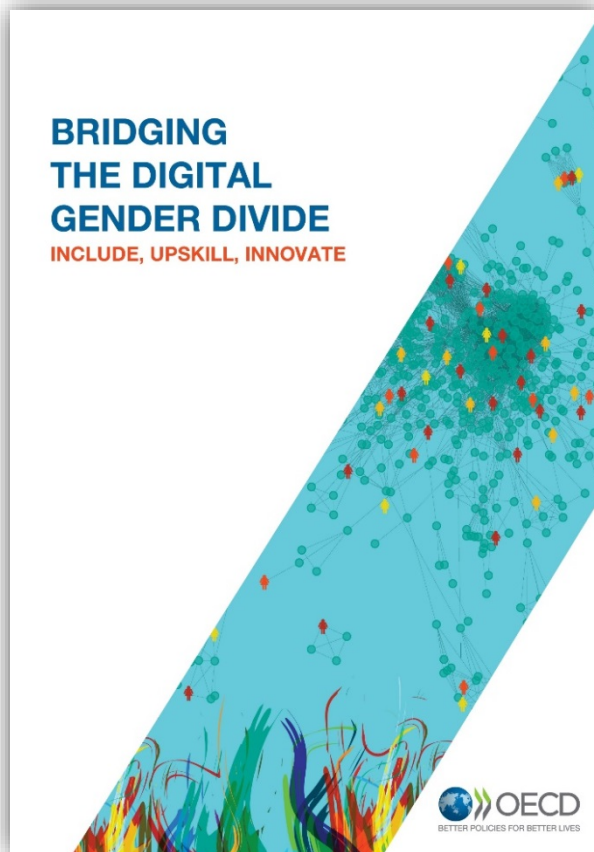
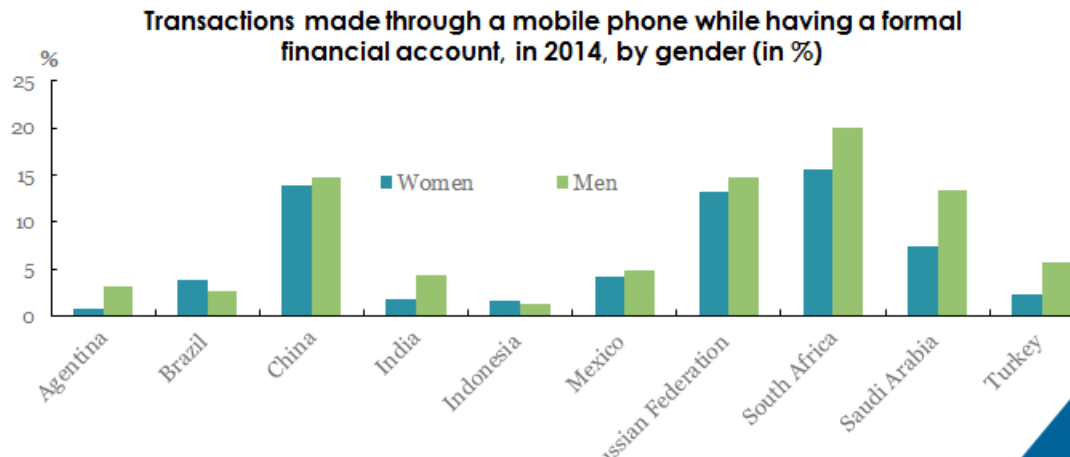


OECDよりアルゼンチン議長G20への貢献

例：デジタル男女格差の縮小



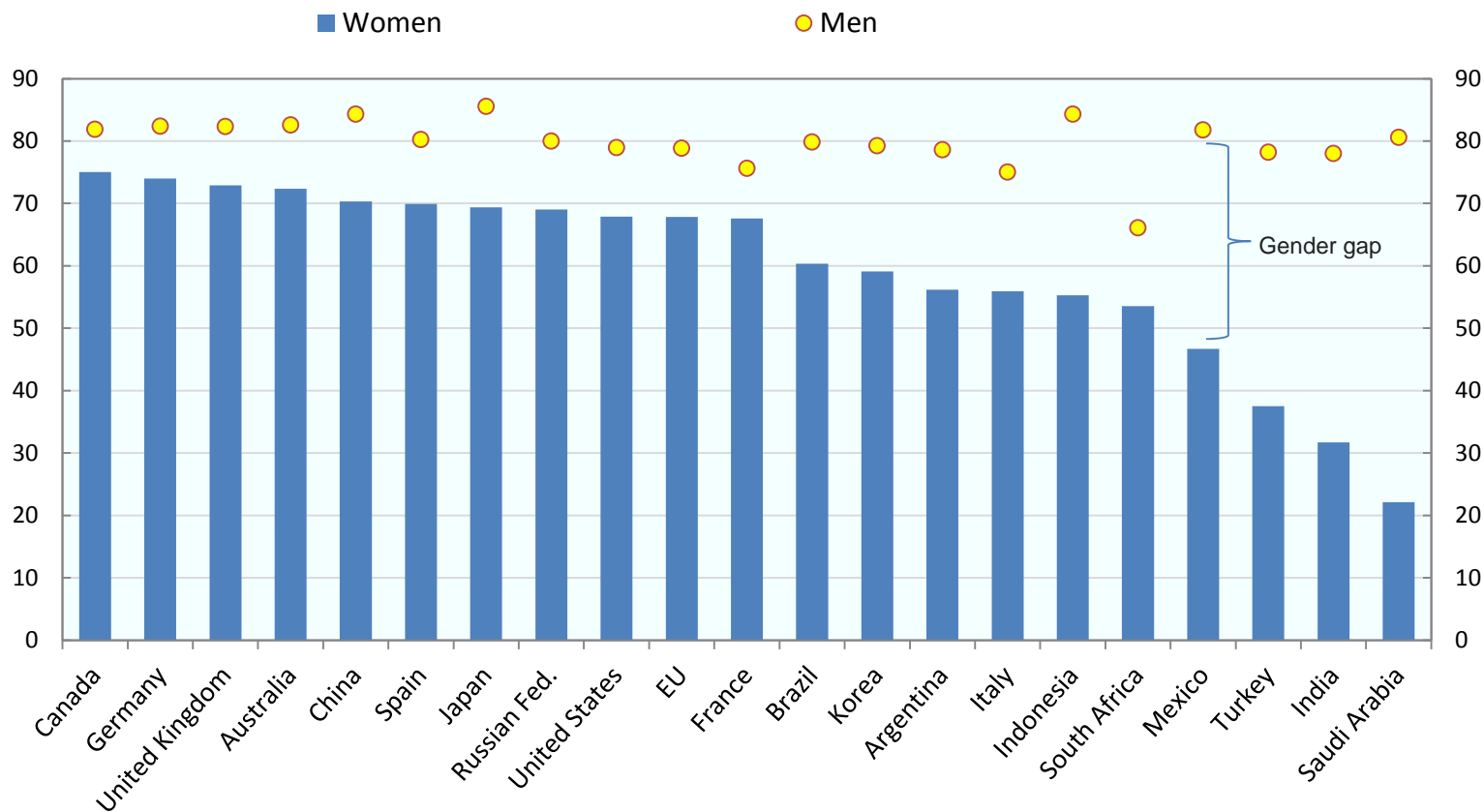
Women display less confidence when using technology





G20各国の労働市場における男女の雇用格差は依然大きい

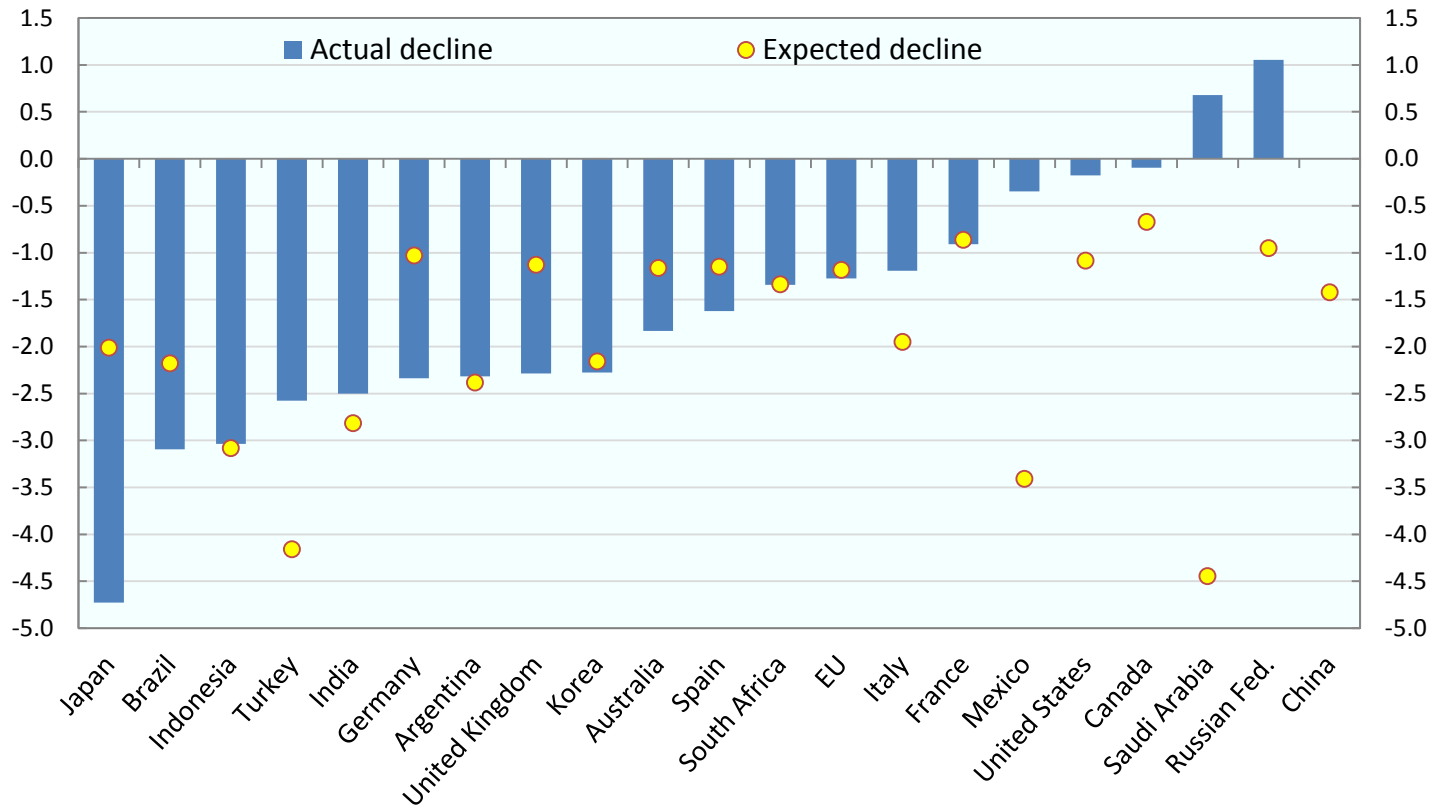
15-64歳人口に占める男女の労働市場参画率、2017年データ





2014年首脳レベルで合意されたブリスベンターゲットからの進捗も緩やか

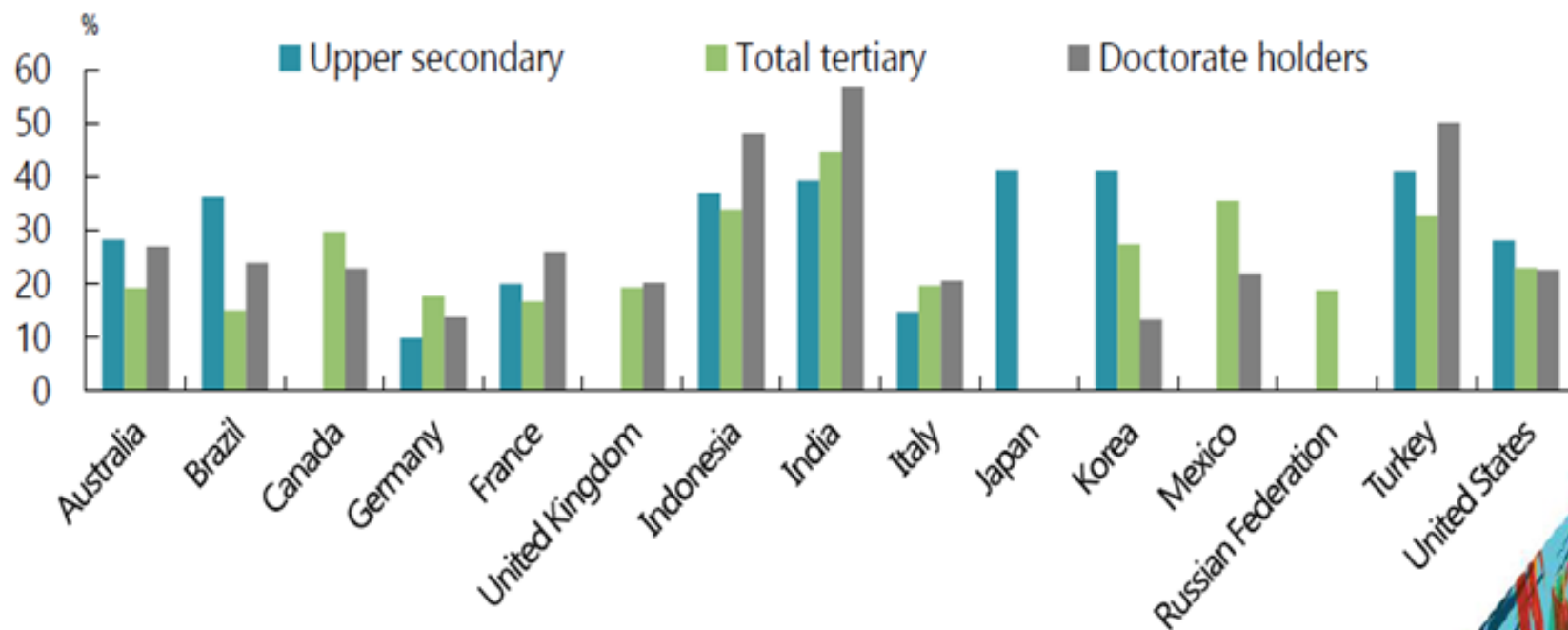
2012-2017の間の実際の男女格差縮小率VS理想とされる縮小率
15-64歳の労働人口中





大学でICTを専攻する女性の割合は少ない

大学でICTを専攻する女性の割合（2015年データ、教育レベル別）



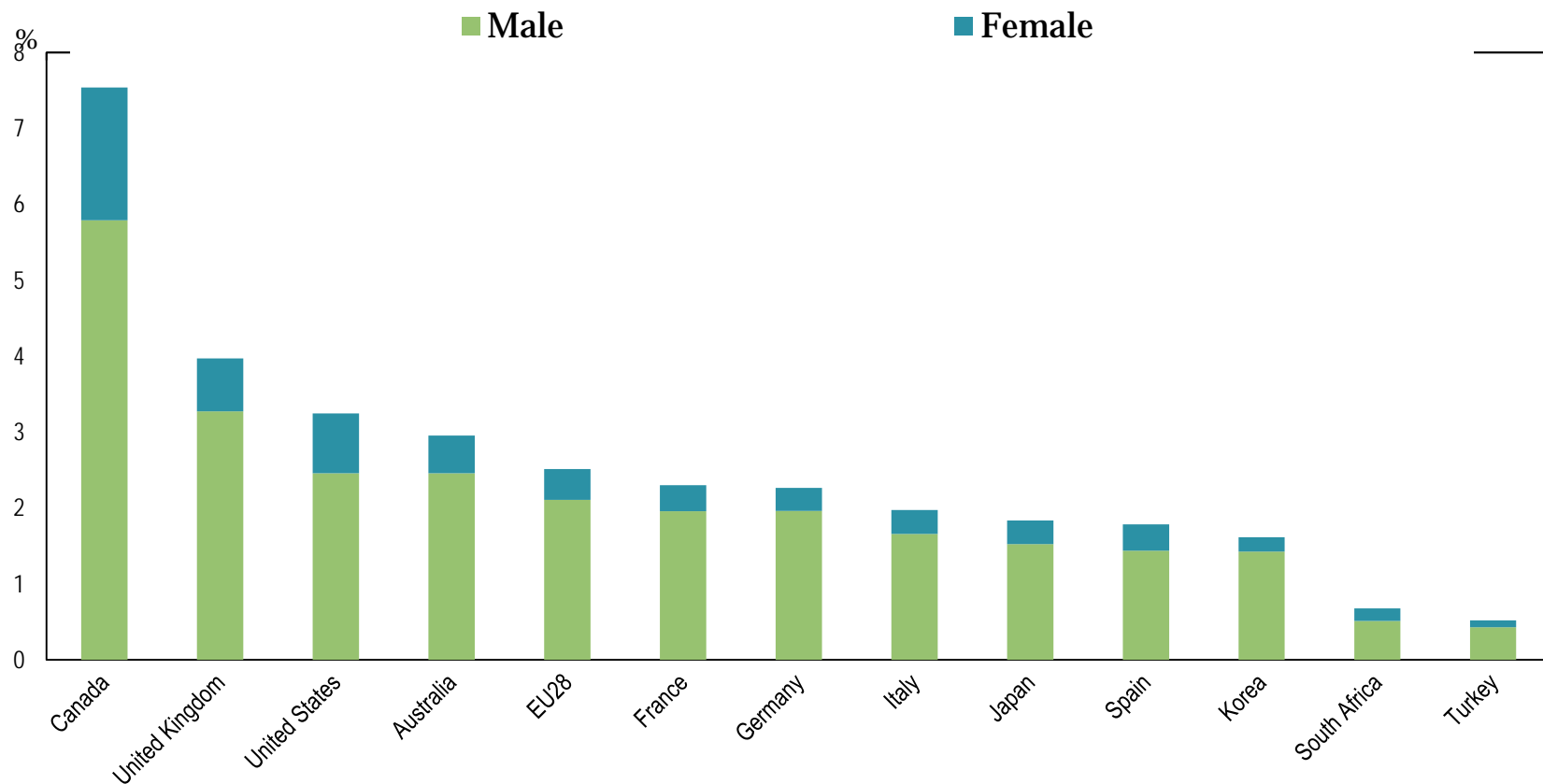
Source: OECD computations on data from OECD Education at a Glance 2017: OECD Indicators.





この男女格差が雇用市場にも反映される

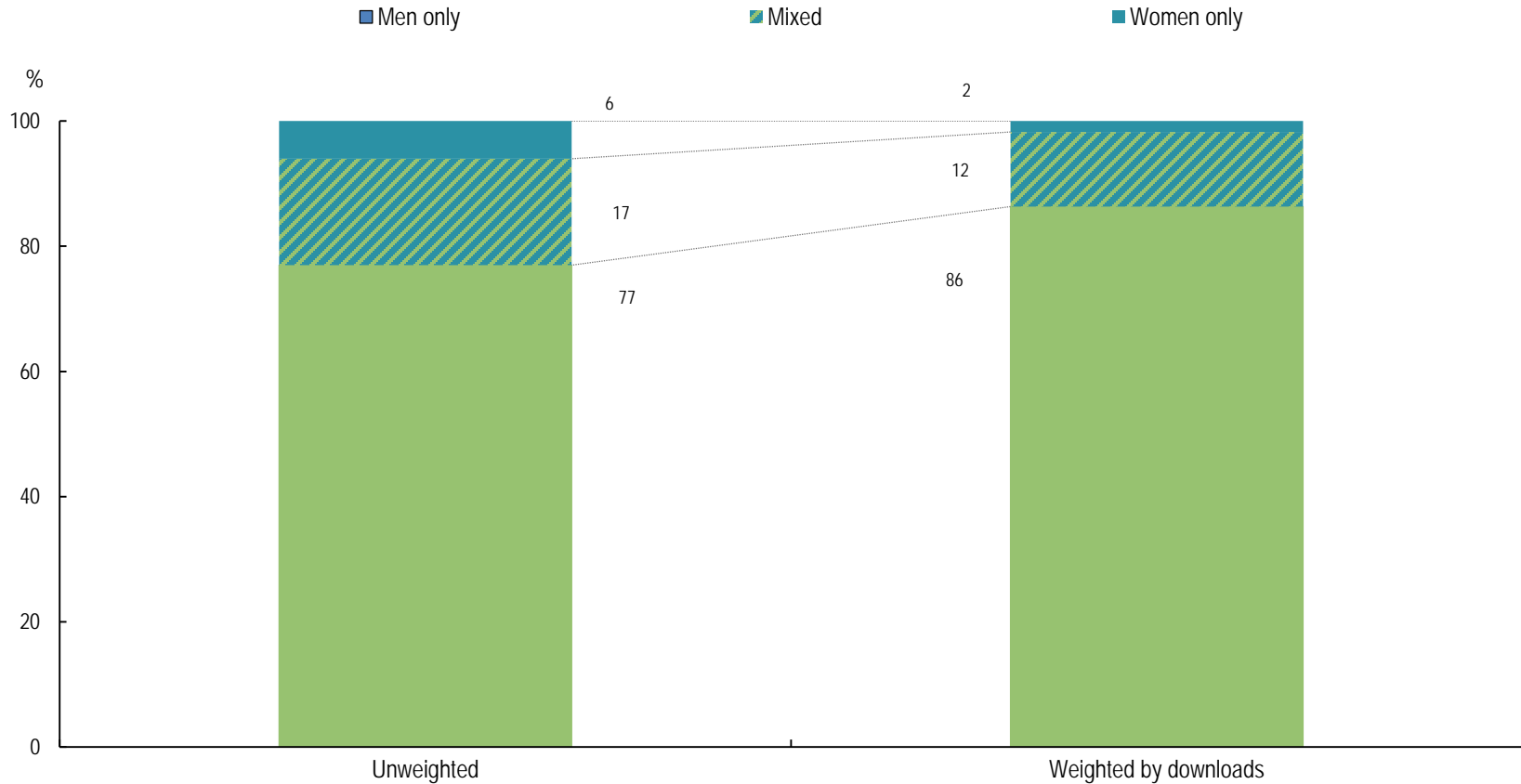
ICT スペシャリスト (G20経済がらの例、男女別、2015年データ)
雇用総人口に占める割合





ソフトウェアの開発チームにも女性は少ない → ジェンダーバイアスがAIにまで転化されるリスク

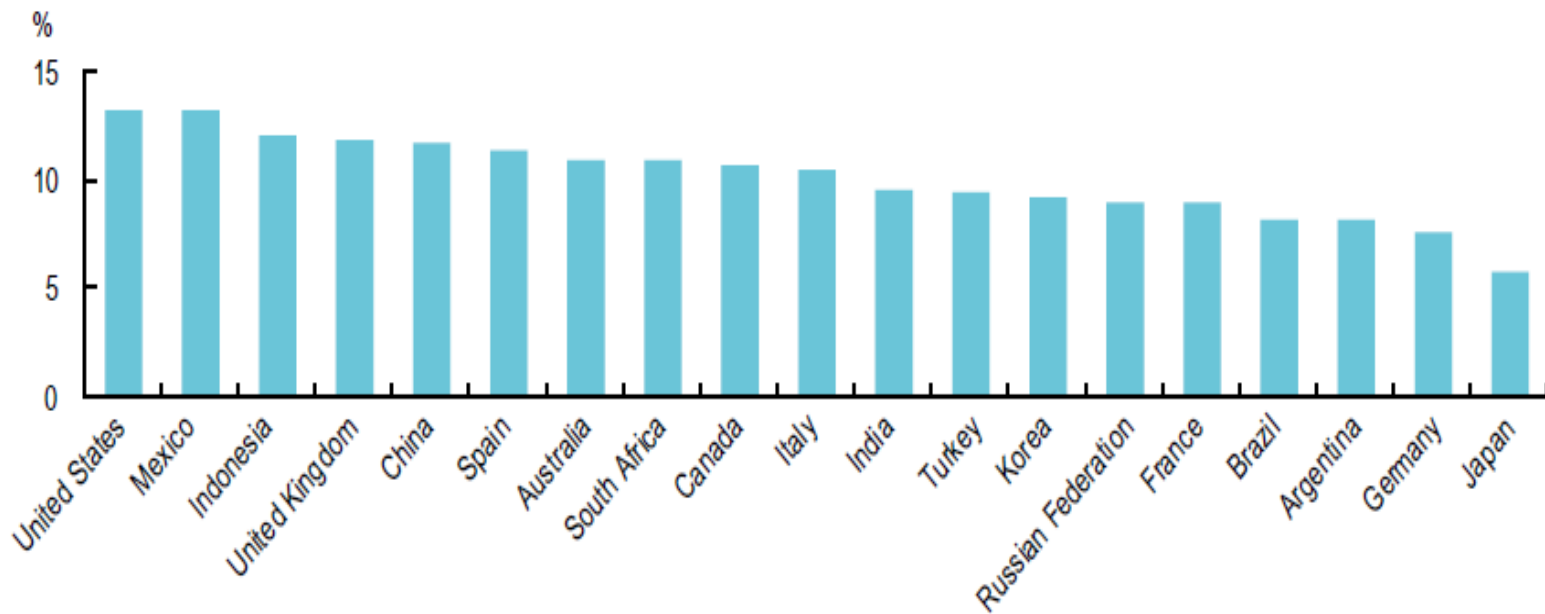
Rベースのソフトウェアパッケージを作っているチームの男女の割合
Number of packages and downloads, October 2012 – December 2017





スタートアップに女性が占める割合は依然低い 資金提供の時点での格差も問題

Share of females among start-up founders, by economy

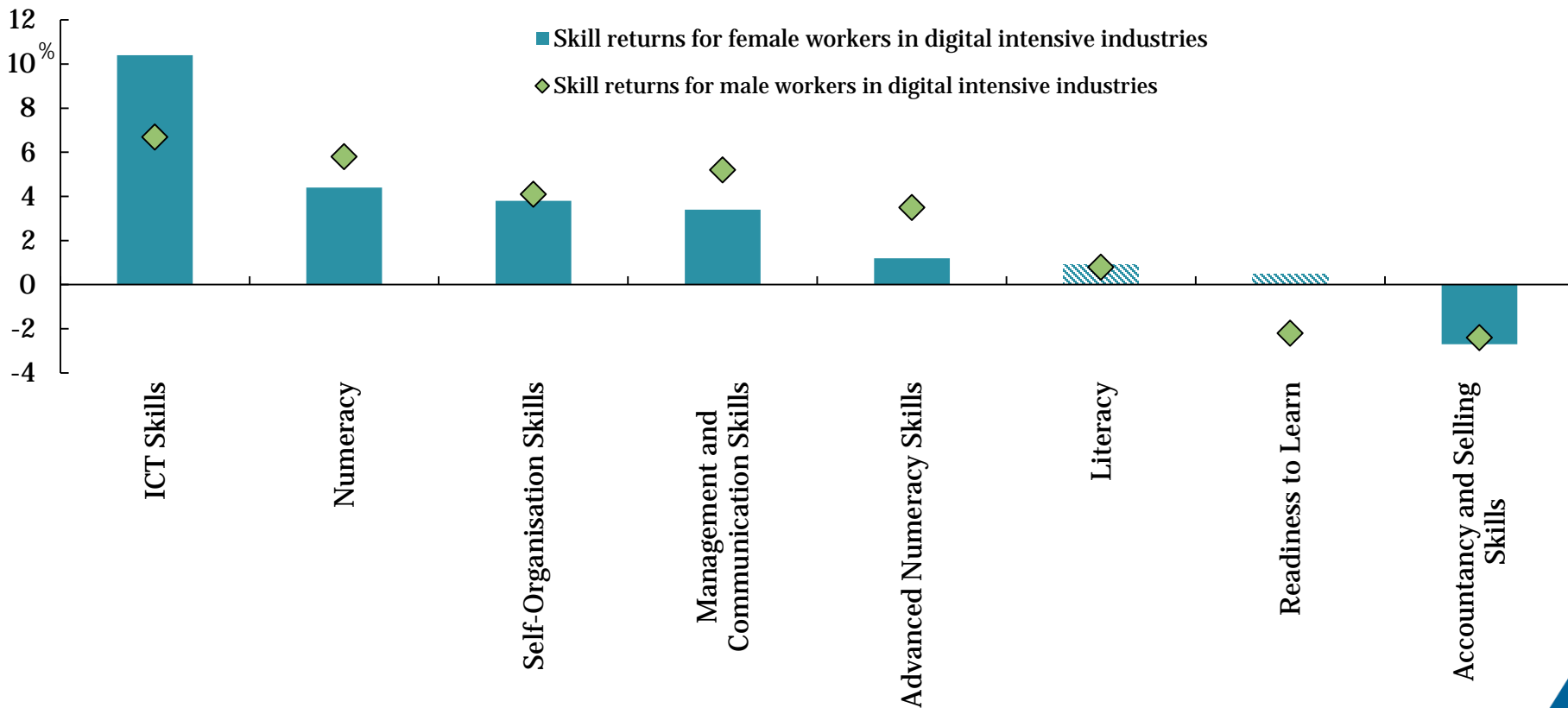


Source: OECD (2018), Bridging the Digital Gender Divide: Include, Upskill, Innovate.



ICTスキルは男女の賃金格差の縮小にも貢献する可能性をもっている

スキル別のリターン（男女別：対象国はPIAAC参加の31カ国）
スキルがあうことで自給がどれだけ上昇するか

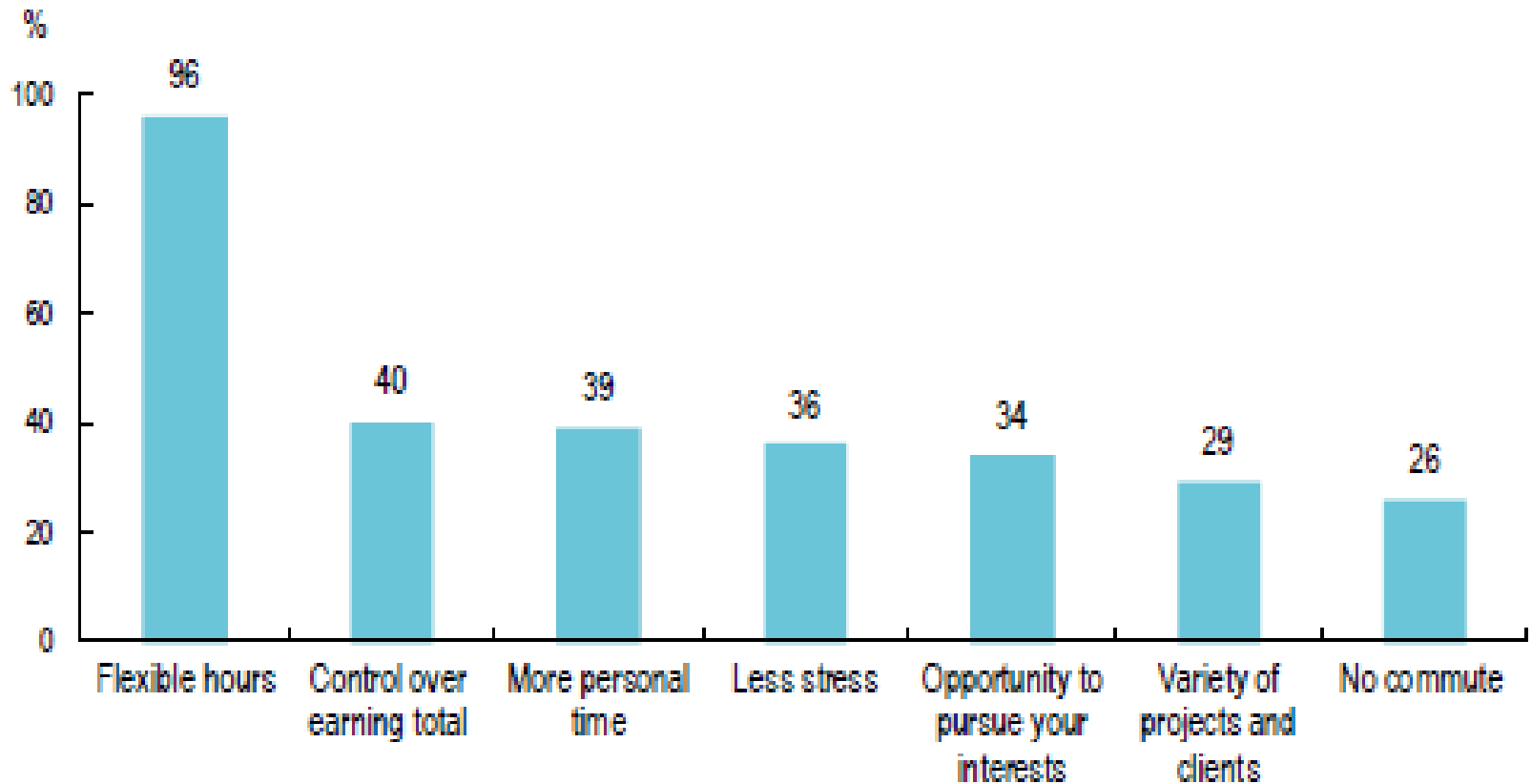


Source: OECD calculations based on the Survey of Adult Skills (PIAAC) Database.



デジタル・インクルージョンは女性にとって利益が大きい

女性がギグ・エコノミーで働く利点



Source: OECD (2018), Bridging the Digital Gender Divide: Include, Upskill, Innovate.



OECD におけるAIの取組み

➤ G7香川・高松情報通信大臣会合（2016年4月）

高市総務大臣（議長）から、AIネットワーク化が社会経済に与える影響の分析を国際機関も含めた連携を通じて実施し、AIの開発原則の議論へとつなげていくことを提案。

➤ G7イタリア・トリノ情報通信・産業大臣会合（2017年9月）

AIについて、成果文書の附属文書「G7 Multistakeholder Exchange on Human Centric AI for Our Societies」において、OECDの役割に言及。

➤ AIに関する国際カンファレンス（OECD・総務省共催）（2017年10月）

世界各国の産学民官の有識者が一堂に会し、AIの研究開発の現状、AIの影響・リスク、政策の役割、国際協調等について報告及び議論。

➤ AIに関する分析レポートの作成（2017年11月～）

研究開発の現状、開発・普及トレンド、利活用の状況、政策担当者が留意すべき事項、各国のAIに関する政策動向など、AIをとりまく現状について広範な分析を実施。

➤ OECDにおけるAI原則の検討等（2018年5月～）

（1）AIに関する原則の策定に向けた検討

- ・ 専門家グループを設置、AIに関する原則の策定に向けて検討。
- ・ 日本からも専門家を派遣し、議論に積極的に貢献。

（2）今後の予定

専門家会合の結果を受け、OECDのデジタル経済政策委員会(CDEP)において、理事会勧告の策定に向けた検討を行う。